

センターからのお知らせ

「性・エイズに関する学習会 2022」の報告

3月19日に「性・エイズに関する学習会 2022」をオンライン配信(Zoom)で行いました。子どもに性教育を伝える産婦人科医・遠見才希子さんを講師に招き、10代から60代まで幅広い年齢層からの参加がありました。

絵本からの性教育・ジェンダー・国際セクシュアリティガイダンス・性被害・グルーミング等内容の濃い学習会でした。

参加者から「人権と性教育との関連や、体の権利と性的同意については、子どもたちだけでなく、大人たちも学ぶ必要がある」「性教育の遅れを取り戻すことが重要である」「知識を得るだけでなく、自分の意識を見直したい」との声がありました。

神奈川新聞・朝日新聞から、取材がありました。



子ども向け啓発動画「ミーのなやみ」リニューアル

認定 NPO 法人 3keys(スリーキーズ)は、子どもたちに虐待やいじめ、DV などの正しい知識をつけてもらい、自らを必要以上に責めなくてよいこと、誰かに助けを求めてよいことを伝える啓発アニメーションを配信しています。

「家族・親戚編」「恋人・パートナー編」「いじめ編」に加え、「バイト編」「性被害編」も公開されました。

キャラクターデザインもあらたに、1本1分程度の短い動画からメッセージを届けます!

詳しくはこちら→<https://3keys.jp/mee/>



成年年齢引下げと若年層の性暴力被害予防

自分が望まない性的な行為はどんな理由・相手からでも性暴力です。2022年4月より成年年齢が20歳から18歳に引き下げられることにより、18歳、19歳の方は未成年であることを理由とした契約取り消しができなくなります。アダルトビデオに出演するという認識がないまま契約し、出演を強要される問題が起きており、より一層の注意が必要です。

性別に関係なく10代から20代の若年層を狙った性犯罪・性暴力はその年代の未熟さに付け込んだ許しがたい人権侵害です。

ひとりで悩みを抱え込まないで、ためらわず相談してください。

性犯罪・性暴力相談窓口についてはこちら→

https://www.gender.go.jp/policy/no_violence/avjk/consultation.html



HIV・エイズ、性感染症の正しい知識・最新情報をわかりやすく解説!

おーぷん

URL <https://yaaic.gr.jp/>



発行:横浜 AIDS 市民活動センター
公益財団法人横浜YMCAが横浜市から事業を受託しています。
〒231-0015 横浜市中区尾上町3丁目39番地
尾上町ビル9F / TEL:045-650-5421 FAX:
045-650-5422 / E-mail: info@yaaic.gr.jp
平日:13:00~20:00 / 土・祝:10:00~17:00
休館:日/火
監修:横浜市健康福祉局健康安全課

特集 センターの新しい書籍を紹介します!

2021年 横浜市 HIV 感染者・エイズ患者の動向について

2021年に横浜市内で新たに報告された「HIV 感染者」は21件、「エイズ患者」は11件、総数32件でした。

前年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う緊急事態宣言等の影響により、横浜市で実施した検査数、相談数ともに減少しました。

(注)「HIV 感染者」:HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染しているが、エイズを発症していない状態で報告されたもの

「エイズ患者」:エイズと診断されて報告されたもの

	2019年	2020年	2021年
HIV 感染者・エイズ患者数	27件	30件	32件
HIV 検査数	2,870件	1,483件	1,068件
HIV 相談数	4,960件	2,913件	2,463件
梅毒患者数	117件	109件	152件

2021年横浜市 HIV 感染者・エイズ患者の動向より

《梅毒は昔の病気?》

梅毒は近年全国的に報告数が多く、横浜市でも2016年以降報告の多い状態が続いています。横浜市では男性は20歳代~40歳代で、女性は20歳代で多く報告があり、そのうち約20%が無症状の状態で見られています。

横浜市では HIV 検査と同時に梅毒検査も無料・匿名で行われています。

詳しくはこちら→

[横浜市保健所 エイズ](#)

[検索](#)

推定感染経路別にみた報告割合は、同性間性的接触が68.8%で最も多く、次いで異性間性的接触が12.5%でした。

年齢区分別報告数は、HIV 感染者・エイズ患者ともに20歳代が最も多く、推定感染地域別報告割合は国内が68.6%、国外21.9%、不明が9.4%でした。

特集 センターの新しい書籍を紹介します!



横浜 AIDS 市民活動センターには「図書コーナー」があります! HIV・エイズ、セクシュアリティ、デートDV、性暴力、依存、性教育のジャンルの絵本や書籍がそろっています。

『はじめにきてね、こちょこちょモンキー! 同意と境界、はじめの一步』

ジュリエット・クリア・ベル・作 アビゲイル・トンプキンス・絵
(子どもの未来社発行)



「こちょこちょ」するのが得意なモンキーは気がつきます。「こちょこちょ」をしてほしくない友達もいるんだって。こころと体を守る「同意」と「境界」のはじめの一步の絵本です。

『こっちむいて! みい子 第35巻』

おのえりこ 著 (小学館発行)



主人公みい子は中学1年生! さまざまな人に出会い、成長していきます。35巻にはLGBTのお話なども収録。LGBTについての解説やLGBTが描かれた映画の紹介もあります。

『うみとりくの からだのはなし』

遠見才希子・作 佐々木一澄・絵
(童心社発行)



うみとりくはふたごです。でも気持ちも体もぜんぜん違う! 体をさわるときは「同意」が必要なことやプライベートパーツについて考える絵本です。

『マンガ アイはあるの? 性について考えてみよう、話し合ってみよう』

タツシー&花輪 著 (エイデル研究所発行)

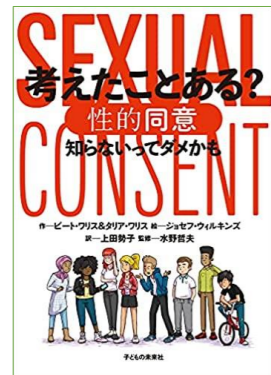


「アイ」は、「I わたし自身」と「Love 愛」の両方の意味を持つ。学校で繰り返し広げられる26のテーマ(愛・性・ジェンダー・デートDV・SNSなど)をまんがにしたものです。

~本の貸し出しについて~
最長2週間、3冊まで貸出無料です。
開館日: 平日(13:00~20:00) 土・祝日(10:00~17:00)
休館日: 火曜・日曜日・8/13~8/17(夏期)・12/28~1/4(年末年始)
アクセス: JR 関内駅北口 / 市営地下鉄関内駅1番出口 徒歩3分

『考えたことある? 性的同意 知らないってダメかも』

ビート・ワリス&タリア・ワリス・作 ジョセフ・ウィルキンス・絵
(子どもの未来社発行)



学校の帰り道に性的同意やレイプ、デートDV、女らしさ・男らしさについて話し合っている学生たち。対等な関係や相手を大切にすることは、年齢や性別に関係なく知るべきこと。相談先一覧や考えるポイントもついています。

『みんな自分らしくいるための初めてのLGBT』

遠藤まめた 著 (筑摩書房発行)



生きていく中で普通という言葉に縛り付けられている、と感じたあなた、手に取ってください。LGBTを通して性の多様性と当事者としての著者の経験・思いが詰まっています。

『女子はどう生きるか—教えて、上野先生!』

上野千鶴子 著 (岩波書店発行)



女性を取りまく社会の変化が可視化されてきた今、上野先生と女の子の間に交わされる44のQ&A。社会学者の第一人者上野先生からのエールが満載。

『子ども虐待死ゼロを目指す法改正の実現に向けて』

後藤啓二 著 (エピック発行)



2021年全国の警察が摘発した子どもの虐待事件は史上最多の2174件。こうすれば防げたかもしれない虐待死事例を元警察庁キャリアが挙げた2016年の本。安心して生きていける社会に!